

NETBegin BBパック Select
PCウイルス対策オプション

Endpoint Security Firewall
削除手順書

Ver2.02

※ 本書に記載している製品・サービス名・会社名等の固有名詞は、各社の登録商標等です。

Endpoint Security Firewall 削除手順(1)

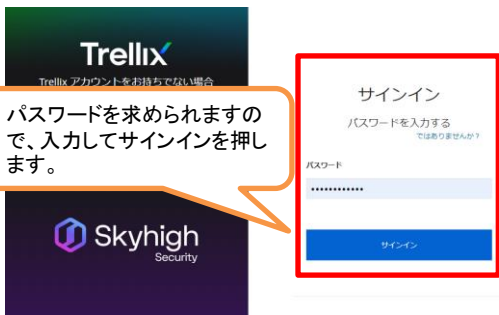
1. 管理コンソールにログイン

- ①インターネットブラウザで以下URLを開いて、管理コンソール(MVISION)にログインします。
<https://auth.ui.trellix.com/>



メールアドレスを入力してサインインを押すと、

※英語表示の場合、画面右下方より言語を日本語に変更してください(ブラウザの翻訳機能は使用しないでください)。



パスワードを求められますので、入力してサインインを押します。

補足:ご登録の「電子メールアドレス」と、設定したパスワードでログインして下さい。

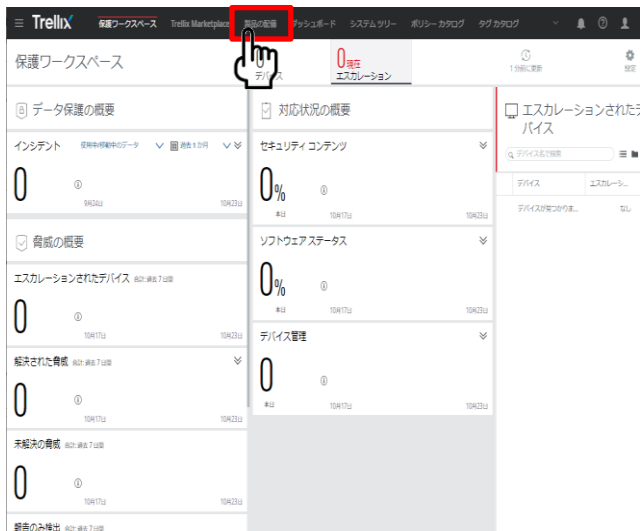
※パスワードをお忘れの場合には、「サインインでヘルプが必要ですか?」から登録メールアドレスを入力して「送信」をクリックして下さい。受信したメールを開き、「パスワードのリセット」ボタンをクリック後、新しいパスワード入力してログインします。

- ②下記画面が表示されますので、「Trellix ePO」をクリックします。



2. ポリシーの変更

- ①[保護ワークスペース]画面が表示されますので、「製品の配備」をクリックします。



Endpoint Security Firewall 削除手順(2)

②グループ名を「修正グループ」にし、「Endpoint Security Platform」を選択。「Endpoint Security Threat Prevention」、「Endpoint Security Adaptive Threat Protection」、「Endpoint Security Web Control」以外のチェックを外し、保存をクリックします。

製品の配備 **保存**

▼ グループ名
修正グループ 入力した名前前の新しいシステム ツリー グループが、この配備構成に作成されます。

▼ プラットフォーム
Windows

▼ エンドポイント保護ソフトウェア
McAfee Agent は、選択した Endpoint Protection ソフトウェア (ご使用のクライアントのプラットフォームとバージョン) に基づいて自動的にインストールされます。

エンドポイント保護

- MVISION Endpoint
- Endpoint Security Platform
- Endpoint Security Threat Prevention
- Endpoint Security Adaptive Threat Protection
- Endpoint Security Firewall
- Endpoint Security Web Control
- McAfee Data Loss Prevention
- File and Removable Media Protection
- McAfee Client Proxy
- Management of Native Encryption - BitLocker

▼ 詳細オプション

グループ名は、こちらに表示されているグループでインストールされます。

デフォルトでは「MVISION Endpoint」が選択されていますが、「Endpoint Security Platform」を選択します。

「Endpoint Security Firewall」のチェックを外します。

下4つのチェックを外します(4つ無い場合あり)。

③下記の画面が表示されますので、「閉じる」をクリックし、画面を一度閉じてから次ページ『3. ポリシーの適用』に進みます。

製品の配備 **保存**

▼ グループ名
マイシステム ツリーグループ

▼ プラットフォーム
Windows

▼ エンドポイント保護ソフトウェア
McAfee Agent は、選択した Endpoint Protection ソフトウェア (ご利用のクライアントのプラットフォームとバージョン) に基づいて自動的にインストールされます。

エンドポイント保護

- MVISION Endpoint
- Endpoint Security Platform
- Endpoint Security Threat Prevention
- Endpoint Security Adaptive Threat Protection
- Endpoint Security Firewall
- Endpoint Security Web Control
- McAfee Data Loss Prevention
- File and Removable Media Protection
- McAfee Client Proxy
- Management of Native Encryption - BitLocker

▼ 詳細オプション

McAfee スマート インストーラー をシステムにダウンロードできます。または、スマート インストーラーの URL をコピーしてユーザーにメールで送信することもできます。

スマート インストーラーによって、選択した McAfee 製品がインストールされ、システムは McAfee MVISION ePO の管理対象になります。

```
https://ui-mcafee.mvision.mcafee.com:443/ComputerMgmt/pages/package.get?token=6928237e782d93af9d8a3e35d9857d137c54204
```

インストールのダウンロード | **クリップボードに URL をコピーする**

閉じる

MVISION Endpoint

Microsoft Windows 10 バージョン 1709 以降、または Microsoft Windows Server 2016 以降が対象です。

高度な保護機能により、基本的な Windows Defender、Windows ファイアウォール、および Exploit Guard の代替セキュリティ制御を提供する最新の保護機能です。

Endpoint Security プラットフォーム

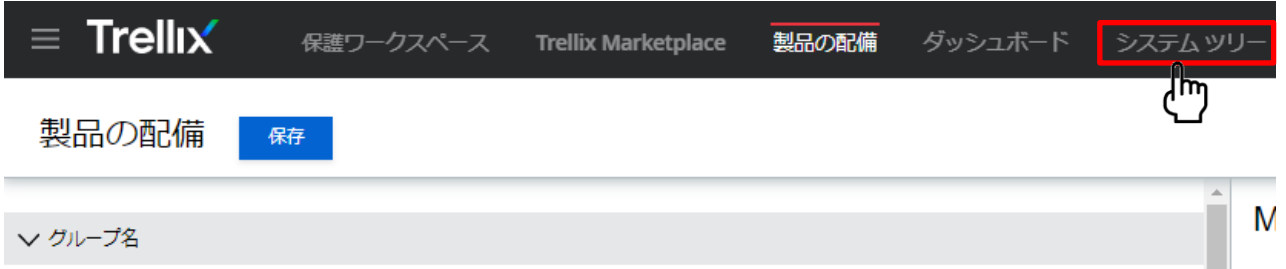
指定された製品はエンドポイント保護、操作可能、実行可能なエンドポイント保護に対応する最新の保護機能です。

次頁に続く

Endpoint Security Firewall 削除手順(3)

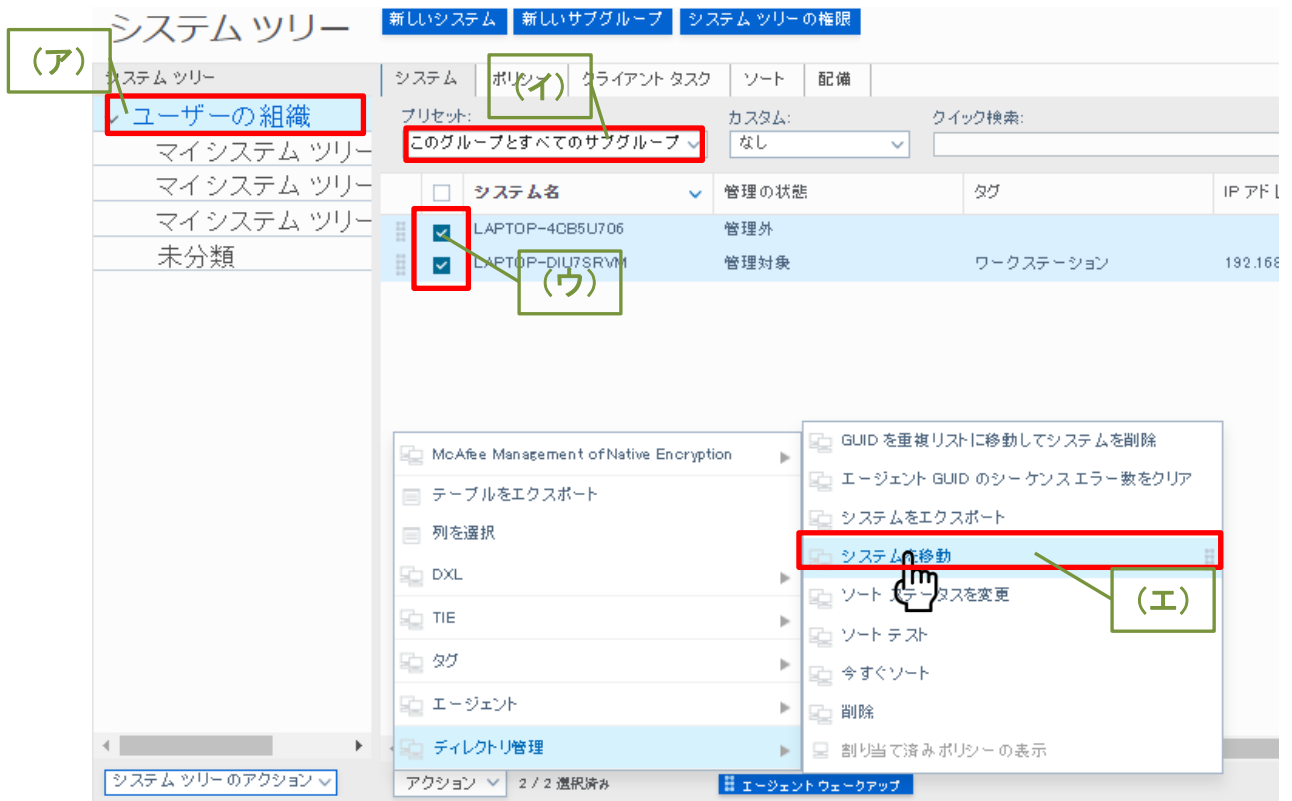
3. ポリシーの適用

①「システムツリー」をクリックします。



②以下の画面が表示されます。次の順序で設定します。

- (ア) : 「ユーザーの組織」をクリックします。
- (イ) : 「このグループとすべてのサブグループ」をクリックします。
- (ウ) : 全てのチェックボックスをクリックします。
- (エ) : 「アクション」をクリック、「ディレクトリ管理」をクリックし、「システムを移動」をクリックします。

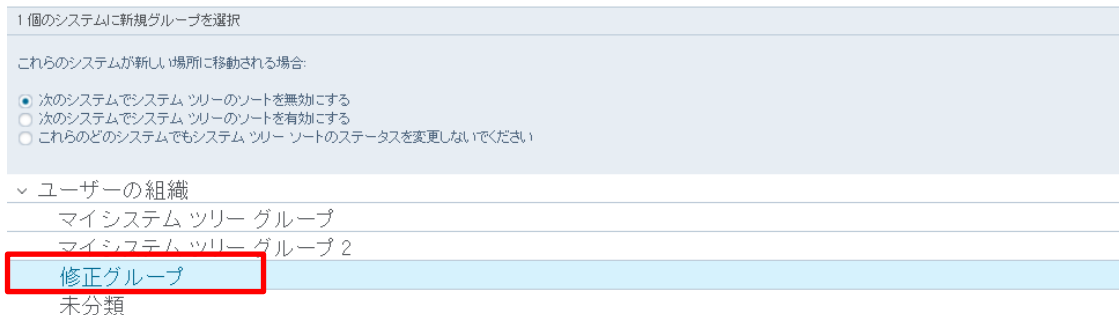


次頁に続く

Endpoint Security Firewall 削除手順(4)

- ③ 「修正グループ」を選択し、「OK」をクリックします。

システム ツリー



- ④ 以上でポリシー変更の設定は完了となります。

■ウイルス対策ソフトをインストールしている全てのPCで以下の操作を行います。

1. Endpoint Security Firewallの削除

- ① スタート(又は設定)、コントロール パネル、「プログラムと機能」をクリックします。
- ② 以下の製品がリストに表示されております。以下製品の削除をクリックします。
Trellix (McAfee) Endpoint Security Firewall
- ③ アンインストール完了後、ウィンドウを閉じます。